

お詫びと訂正

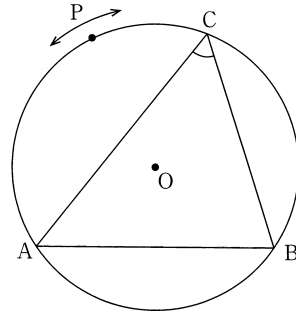
「2025 年度入試 一般選抜入試 1 月期 数学」に下記の誤りがありました。
お詫びして訂正致します。

P44 3(2) の問題文

(誤) $\angle PAC$

(正) $\angle PAQ$

- 3 三角形 ABC とそれに外接する円 O がある。
 $AB = 14\sqrt{3}$, $\angle ACB = 60^\circ$ とする。



- (1) 三角形 ABC の外接円 O の半径は

タチ である。

- (2) いま、点 C がある方の弧 AB 上を移動する点 P を考える。
 点 P から辺 AB に対して垂直を下ろし、交点を Q とする。

PQ の長さが最大になるとき、 $\angle PAC =$ ツテ $^\circ$ である。

このとき $PQ =$ トナ $,$ $PB =$ ニヌ $\sqrt{$ ネ $}$ となる。

- (3) したがって三角形 PAB の面積は $PQ =$ トナ のときが最大で

ノハヒ $\sqrt{$ フ $}$ である。

- 4 2つの袋 X, Y と 1つの箱 Z がある。

X の袋には赤球 2 個と白球 2 個が入っている。

Y の袋には赤球 4 個と白球 1 個が入っている。

また箱 Z には最初は何も入っていない。

- (1) X の袋から 1 個、Y の袋から 1 個、同時に取り出し、球の色は見ないで箱 Z に入れる。

箱 Z 中の 2 個のうち少なくとも 1 個が白球である確率は $\frac{\text{ヘ}}{\text{ホ}}$ である。

- (2) 次に箱 Z の中をよくかき混ぜてから球を 1 個取り出すとする。このとき取り出した球が白球である確率を P(A) とし、以下のように考えて求める。

- (i) 中身が白球 2 個の箱 Z から白球が取り出される場合

袋 X から白球が取り出される確率は $\frac{1}{\text{マ}}$

袋 Y から白球が取り出される確率は $\frac{1}{\text{ミ}}$

よって箱 Z の中身が白球 2 個になる確率は $\frac{1}{\text{ムメ}}$

そこから白球 1 個が取り出される確率は $\frac{1}{\text{ムメ}}$ である

- (ii) 中身が白球 1 個、赤球 1 個の箱 Z から白球が取り出される場合

少なくとも 1 個白球である確率は (1) より $\frac{\text{ヘ}}{\text{ホ}}$

そのうち箱 Z の中身が白球 2 個になる確率は (i) より $\frac{1}{\text{ムメ}}$

よって箱 Z の中身が白球 1 個、赤球 1 個になる確率は $\frac{1}{\text{モ}}$

したがって、そこから白球 1 個が取り出される確率は $\frac{1}{\text{ヤ}}$